

まつど議会だより

発行/松戸市議会
編集/広報委員会
千葉県松戸市根本387-5
TEL 047(366)7382



松戸市議会の情報はホームページからもご覧いただけます。(http://www.city.matsudo.chiba.jp/gikai/index.html) 右のQRコードもご利用ください。

赤ちゃん、はじめまして!! 泣いても、笑っても、かわいい♪



松戸向陽高校生と赤ちゃんとの
ふれあい体験



高校生と赤ちゃんのふれあい体験を実施しています♪

松戸市では、高校生が命の大切さを学ぶきっかけとして、小さな赤ちゃんと触れ合う“プレママ・プレパパ”体験を実施しています。(写真は県立松戸向陽高校でのふれあい体験)

次回開催予定

期 日 平成28年10月24日(月)
場 所 市立松戸高校
問い合わせ先 子どもわかもの課
TEL 047(366)7464

6月定例会

平成28年6月定例会を6月10日から6月28日まで開催しました。今定例会では、初日に市長から提出のあった専決処分報告を承認し、人権擁護委員候補者の推薦議案2件に同意しました。

このほか、市長が提出した条例などの一般議案11件、市民等の方から提出された請願4件、陳情2件を、それぞれの委員会において審査しました。

最終日には、これらの案件のほかに議員提出議案8件を上程し、採決しました。

(2面に審議結果、3面に主な質疑を掲載)
なお、34人の議員が市政に関する一般質問を行いました。

政務活動費を公開中

平成27年度政務活動費の収支報告書をまつど市議会のホームページに掲載しています。各議員の収支報告書の詳細については、議会事務局で閲覧することが出来ます。

政務活動費とは??

議員の調査研究に役立てるため必要な経費の一部として、会派および議員に対し交付するものです。条例で定められた経費以外に充てることはできません。収支報告の際には、規程に基づく領収書(または、これに準ずる書類)の添付が義務付けられています。松戸市議会では、政務活動費の使途基準の明確化のために、経理責任者等会議を開催して協議を行い、適正な運用に努めています。

●問い合わせ先 市議会事務局庶務課
TEL 047(366)7381

6月定例会審議結果

番号	件名	付託先委員会	本会議の結果	採決	番号	件名	付託先委員会	本会議の結果	採決
市長提出議案					議員提出議案				
第1号	専決処分の報告及び承認（松戸市市税条例等の一部を改正する条例の制定） 地方税法の改正に伴い、固定資産税の非課税又は減額の適用を受ける場合における申告に関する規定を整備するとともに、条例で引用する同法の条項等をこれに合わせる。	-	承認	全会一致	第11号	松戸市ほか9市消防指令事務協議会規約の制定に関する協議 松戸市ほか9市消防指令事務協議会規約を定め、当該協議会を設けることにより、松戸市、市川市、野田市、習志野市、柏市、流山市、八千代市、我孫子市、鎌ヶ谷市及び浦安市が共同して消防指令事務を管理し、及び執行する。	総務財務	同意	多数意見
第2号	平成28年度松戸市一般会計補正予算（第1回） 新松戸学校跡地に建設中の市民交流会館における管理代行の経費を措置する。	総務財務	可決	多数意見	第12号	指定管理者の指定 松戸市市民交流会館の指定管理者を指定する。	教育環境	同意	多数意見
第3号	松戸市民会館条例の一部を改正する条例の制定 液晶プロジェクターの使用料金を定めるとともに、プラネタリウム室使用料の免除規定を設けることにより、その利用機会の拡充を図る。	教育環境	可決	全会一致	第13号	人権擁護委員候補者の推薦 委員の退任に伴い、後任の候補者（飯尾 尚）を推薦する。	-	同意	全会一致
第4号	新松戸地域学校跡地有効活用事業基金条例の一部を改正する条例の制定 新松戸地域学校跡地有効活用事業の事業期間の延伸に伴い、条例の失効期日を延長する。	教育環境	可決	全会一致	第14号	人権擁護委員候補者の推薦 委員の増員に伴い、新任の候補者（町田 達雄）を推薦する。	-	同意	全会一致
第5号	松戸市手数料条例の一部を改正する条例の制定 建築物に係るエネルギーの使用の合理化の一層の促進その他の建築物の低炭素化の促進のために誘導すべき基準の改正及び建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律の制定に伴い、これらに係る申請の手数料等を整備する。	建設経済	可決	全会一致	第1号	子育て費用の家計負担軽減のため保育料の低減化を求める意見書	-	否決	多数意見
第6号	松戸市図書館整備計画審議会条例を廃止する条例の制定 図書館の総合的な整備計画を策定したことにより、審議会の設置目的を果たしたことから廃止する。	教育環境	可決	全会一致	第2号	公立保育所の一般財源化を廃止し、直接補助制度に戻すことを求める意見書	-	否決	多数意見
第7号	松戸市公設地方卸売市場業務条例の一部を改正する条例の制定 松戸市公設地方卸売市場北部市場の施設の老朽化及び同市場を取り巻く環境の変化等により、市場の存続が困難な状況となったことから、同市場を廃止する。	建設経済	可決	全会一致	第3号	東京電力福島第一原子力発電所事故による避難者への住宅支援の継続を求める意見書	-	否決	多数意見
第8号	松戸市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例の制定 非常勤消防団員等に係る損害補償の基準を定める政令の改正に準じ、非常勤消防団員の障害厚生年金等の社会保障給付と公務災害補償の併給調整に係る規定を整備する。	総務財務	可決	全会一致	第4号	保育士不足の解消へ向けて大幅な処遇改善を求める意見書	-	否決	多数意見
第9号	松戸市火災予防条例の一部を改正する条例の制定 消防法令等に関する重大な違反のある防火対象物について、その法令違反の内容を公表することにより、利用者等の防火安全に対する認識を高めて火災被害の軽減を図るとともに、防火対象物の関係者による防火安全体制の確立を促進する。	総務財務	可決	全会一致	第5号	九州電力川内原子力発電所の停止を求める意見書	-	否決	多数意見
第10号	字の区域及び名称の変更 秋山土地区画整理事業の施行に伴い、当該事業区域内及び隣接する秋山、高塚新田、紙敷の一部の区域を秋山一丁目、秋山二丁目、秋山三丁目に変更する。	教育環境	可決	全会一致	第6号	沖縄の米軍軍属による許しがたい重大犯罪に抗議する決議	-	否決	多数意見
					第7号	待機児童解消に向けて緊急的な対応を求める意見書	-	可決	多数意見
					第8号	次期介護保険制度改正における福祉用具、住宅改修費にかかる給付の見直しに関する意見書	-	可決	全会一致
					請願				
					第1号	ゆきとどいた教育を推進するために3年生から順次35人以下学級をもとめる請願	教育環境	不採択	多数意見
					第2号	特別なニーズを持つ子どもたちのために支援員増員をもとめる請願	教育環境	不採択	多数意見
					第3号	林間学園の保護者負担を軽減するための補助をもとめる請願	教育環境	不採択	多数意見
					第4号	教育施設の整備をもとめる請願	教育環境	不採択	多数意見
					陳情				
					第2号	「骨髄バンクドナー助成制度」創設に関する陳情	健康福祉	採択	全会一致
					第3号	常盤平地域の再生を求める陳情	建設経済	採択	多数意見

町 飯
田 尾
達 尚
雄 尚

人権擁護委員の退任および増員に伴い、それぞれの推薦に同意しました。
(敬称略)

人事案件

意見書2件提出

地方自治法第99条の規定により国会および関係行政庁に対し、下記の意見書を提出しました。

- 待機児童解消に向けて緊急的な対応を求める意見書
- 次期介護保険制度改正における福祉用具、住宅改修費にかかる給付の見直しに関する意見書

総務財務 常任委員会

議案第2号 平成28年度松戸市一般会計補正予算(第1回)

市民交流会館管理代行業務の管理運営費では、金額の妥当性をどのように判断したのか。

答 当該金額については、ソフト部門の提案や自主事業も含まれている。また、PPP新松戸株式会社と契約することで事業の安定的継続が可能となるメリットもあり、管理運営費を含めても、市の直営より安価であると精査したものである。

議案第9号 松戸市火災予防条例の一部を改正する条例の制定

問 公表方法にはどのようなものがあるか。また、当該条例施行に伴う違反事実の公表により見込まれる効果は。

答 公表はホームページならびに各消防署・消防局にて紙面での閲覧という形式をとる。違反対象物へ警告・命令を行うには法令の手続に一定の時間を要するが、今回導入する制度では早い段階で違反事実を公表するため、建物の利用者等が火災の被害に巻き込まれる危険を回避でき、消防法違反の早期是正にもつながるものと考ええる。

健康福祉 常任委員会

陳情第2号 「骨髄バンクドナー助成制度」創設に関する陳情

ドナーとなる条件は。

答 骨髄・末梢血幹細胞の提供の内容を十分に理解していること。年齢が18歳以上54歳以下で健康な人。体重が男性45kg以上、女性40kg以上の人である。

市民からの要望等は。

答 平成27年度に陳情者からドナー登録者拡大のため献血時に登録できる体制を整えてほしいという市長メールがあった。献血推進協議会と検討したが、市役所での献血会場が狭いため

委員会の審査から

6月21日・22日・23日・24日に各委員会を開催し、提出された議案等について審査しました。ここでは、その審査の中での主な質疑・答弁(要点)を掲載します。

教育環境 常任委員会

議案第12号 指定管理者の指定について(松戸市市民交流会館)

指定管理者候補者審査委員会において、適正な審査を行うためにどのようなことに留意したか。

答 全市民的な施設という観点から、3人の学識経験者を審査委員に選任した。これらの委員は、前回のプロポーザル審査にもかかわらずおり、新松戸学校

跡地有効活用事業全体の経過をよく理解していることから適任と考えた。なお、委員に対しては、審査にあたるうえで必要な本市の状況と本事業にかかる一体的な経過を説明しており、委員会ではさまざまな見地から、また各委員の知識や考え方の中から審査が行われたと認識している。

問 指定管理期間4年の間で1年ごとに行う評価方法とは。

答 評価方法については、事業者と適宜協議を行いながら業務実績を的確に把握し、課題の抽出と是正措置を行っていく。また、利用者の満足度、施設利用に関する意見・要望を把握するためアンケート調査の実施なども考えている。

建設経済 常任委員会

陳情第3号 常盤平地域の再生を求める陳情

陳情項目「常盤平地域の核となる団地の再生をUR都市機構へ要望すること」にある「団地の再生」について、市はどのように解釈するか。

答 団地再生については、UR都市機構の「UR賃貸住宅ストック再生・再編方針」に、地域の整備課題、住宅需要等に応じて、

建て替え事業、トータルリニューアル、改善事業を複合的・選択的に実施するとある。従って、建て替え事業のみを意味するものではないと考える。また、Q&Aには、順次、団地再生の考え方について各団地の自治会へ説明・話し合いを行い、お住まいの皆様にお知らせしていくとあることから、事前に居住者への説明等があるものと認識する。

議案第7号 松戸市公設地方卸売市場業務条例の一部を改正する条例の制定について

問 北部市場跡地の活用について、市はどのように把握しているか。

答 当該地の所有者である民間会社为主导して跡地の利用について検討しており、商業施設を考えていると聞いている。

会派別一覧

～松戸市議会では3人以上で構成する団体を会派としています。この6月、会派構成に変更がありました。～

公明党			
幹事長	織原正幸	副幹事長	石川龍之
	鈴木智明		松尾麻尚
	岩瀬伸一		高橋英公
	伊飯善所		飯城諸角

まつど自民			
幹事長	木村みね子	副幹事長	石井勇児
	※ 大塚健児		大谷茂範
	大鈴木大由		杉山替勝
	張田居林		田平小沢

市民クラブ			
幹事長	末松裕人	副幹事長	深山能一
	深谷剛一		渋谷川恵一
	岩堀研栄		山井知英
	大井川		中

政策実行フォーラム			
幹事長	原裕二	副幹事長	二階堂剛
	DELI		増田薫
	関根ジロ		谷口薫

日本共産党			
幹事長	宇津野史行	副幹事長	高橋妙子
	平田きよみ		山口正子
	高山健		

無所属	
山中啓之	

清松会			
幹事長	大橋博	副幹事長	箕輪信
	桜井秀		

無所属	
中田京	

※変更のあった議員(6月2日現在)

議員定数44名

一般質問

6月定例会では、6月13日・14日・15日・16日・17日の5日間にわたり、34人の議員が市政に関する一般質問を行いました。その中から、主な質問と答弁の内容をお知らせします。

※議長・副議長および議会選出監査委員は、一般質問を行っておりません。

土地所有者の不明化について

無所属

中田 京

問 固定資産税の納税義務者が賦課期日である1月1日以前に死亡した場合、課税や納税通知書が送付できず納税が滞る。こうした状況を解消するため、どのような取り組みをしているのか伺う。

答 本市では納税義務者の死亡届出を受け、相続人の把握のため各市町村への戸籍照会、また家庭裁判所等へ相続放棄に関する照会を行っている。これにより、相続人を把握し現に所有している者に対して納税義務者としての手続きを行っている。固定資産税は貴重な財源であることから、納税義務者が死亡した場合の相続人の調査・把握等の作業は引き続き積極的に取り組んでいく。

教科書会社による教職員への謝礼支払いについて

清松 会

桜井 秀三

問 教職員への謝礼支払いについて、市では何人の該当者がいて、どのような処分がなされたのか。また、教科書採択への影響があったか。さらに今後の防止策を伺う。

答 千葉県教育委員会が調査

を行い4名が該当すると報告を受けたので、県教育委員会指導措置に基づき厳重注意処分とした。編集会議に参加し、教科書について意見を述べた行為はあったが教科書採択地区協議会等にかかわっていないことから、教科書採択には支障はなかった。今後、教職員一人ひとりが法令遵守の意識を高め、適正に取り扱うよう注意喚起していききたい。



子育てサイトについて

公明党

松尾 尚

問 スマートフォンを活用して子育て支援に関する情報を取得できることが現代社会においては非常に重要と考えるが、子育てサイトの充実とスマートフォン対応について、本市の状況と見解を伺う。

答 子育て世代の多くはスマートフォンを利用して情報を得ているため、インターネット情報サイトは情報発信力を持つことと使いやすさが必要不可欠である。このことから、平成27年10月よりスマートフォンサイトの開設に取り組んだところである。また、本市の子育てサイト「まつどあ」についても、市内外の子育て世代への情報提供をさらに充実させていくため、全面リニューアルに着手している。

修学旅行費用の集金方法について

政策実行フォーラム

増田 薫

問 中学校にかかる費用の中でも修学旅行費用は高額であるが、どのように集金しているか。

答 平成27年度における全中学校の平均修学旅行費用は、約5万9千円となっている。どの学校も修学旅行の保護者説明会を開催して、旅行の目的や概要、費用の徴収方法を説明し、各家庭において複数回に分けて、旅行会社の口座に直接入金する方法を取っている。徴収事務のトラブル防止、金融機関の手数料削減を図る等の理由で、現在の徴収方法を採用している学校が多い状況であるが、家庭の状況に応じて、個々に配慮した対応を行っている。



女性の視点からの防災対策避難所運営を

公明党

岩瀬 麻理

問 避難所の運営に関して、小中学校の空き教室を女性専用の洗濯物干場や授乳室、また備蓄倉庫として活用できないか。

答 長期化する避難生活において、避難者のプライバシー確保は重要な問題である。本市で

は、避難所内に設置する多目的テントならびに避難所スペースの間仕切り用のパーティションを避難所となる小中学校を中心に配置し、授乳や着替えなど女性のプライバシー確保に配慮した対応が図れるよう対策を講じている。今後も、地域の防災会議等にて提案するなど働きかけていきたい。なお、備蓄倉庫については、市内全小中学校に分散備蓄倉庫の設置を進めているところである。

若者の政策形成過程への参画について

公明党

鈴木 智明

問 青少年の意向を汲み取る制度が必要と考えるが市の考えは。また、庁内の審議会における若者の委員選任の状況と今後の取り組みについて伺う。

答 青少年の意向を汲み取る制度は、若者が地域課題の解決

に向け行政に参画するための一つの有効な手段であると認識している。これまで取り組んだ施策とのバランスなども考慮し、関係部署とともに研究していきたい。また、庁内の審議会等における若者の委員選任状況は、現時点では把握していないが、今後審議会等において若者が市政により参画しやすく、若者の意向が適切に汲み取れるような環境整備を庁内各部署と連携・調整を図っていききたい。

交差点の改良について

公明党

伊東 英一

問 大型ホームセンターが庚申塔バス停前交差点の付近に建設されるが、子育て世代が多く住んでいるこの地域の安全対策は。また、中央消防署交差点の渋滞解消を図るため、左折専用車線を増設できないか。

答 庚申塔バス停前交差点については歩行者の安全を確保するため、事業者が歩道を整備するよう調整し、登校時間帯の車の出入り制限や下校時の交通整理員の配置について意見を申し入れた。今後の交通動態を見極め、交差点の改良も含め必要な対策を検討していく。また、中央消防署交差点の左折専用車線の増設については、一般県道松戸鎌ヶ谷線の拡張整備に併せて検討していく。

保育施策について

日本共産党

高木 健

問 平成28年4月、大阪府の認可外保育施設で昼寝中の幼児が死亡する痛ましい事故が発生した。相次ぐ死亡事故に対する本市の考えは。

答 東京都と大阪府で相次いで発生した保育施設での睡眠中

の死亡事故を重く受け止め、市内全域の認可保育所、認定子ども園、小規模保育施設および認可外保育施設の合計109カ所に訪問調査を行った。また、全保育施設に対して「危機管理研修会」への参加を要請し、重大事故防止への啓発を図った。今後は、保育施設における水の事故などを未然に防ぐための「重大事故防止点検表」を作成し、各施設の安全対策に関する巡回指導を開始する予定である。

学校トイレの洋式化推進を

政策実行フォーラム
関根 ジロー

問 トイレの洋式化への要望が高まる中、洋式化率100%を目指す必要があるのでは。

答 耐震改修工事に併せた小中学校のトイレの改修では、すべてを洋式化せず、各階の男女トイレに和式トイレを1カ所ずつ

つ残してきた。毎年の校長会の要望で、トイレ改修が最上位に位置付けられていることから、今後は優先順位に考慮し、老朽化対策計画の中で改修を進めたい。また、和式トイレの必要性は依然としてあるものの、市では洋式トイレに優位性があると判断し、今後の改修工事はすべてを洋式化するよう進めていく考えである。



新設された東松戸小学校のトイレ

公共施設の耐震性について

まつど自民
木村 みね子

問 本庁舎建替えの考えは。防災拠点としての新庁舎建設は最重要課題と考えている。

答 平成24年度には「松戸市庁舎基礎調査業務」を実施し、26年度に本館および新館の柱の補強工事を行った。新庁舎建設につい

ては、現地で建設した場合と移転時に同機能を有するものを建設した場合の課題や事業費、建設期間等の比較検討を続けている。また、27年3月に松戸市庁舎建設基金を設置し、28年4月現在で20億円を積み立てている。今後、計画の決定については「まちづくり基本計画」や公共施設の再編整備の考え方と整合性を図りながら取り組んでいく。



老朽化が課題となる庁舎

教育における政治的中立性について

公明党
織原 正幸

問 旭町小学校において安全保障関連法廃止の署名を求める団体からのチラシが配られたが、教育委員会はこの事態をどのように認識しているか。また、再発防止策はどのように考えているのか。

答 今回の行為が意図的なものではなかったと判断しているが、教育の政治的中立性を損なう恐れのある事案であるとともに、違反行為とみなされてもやむを得ない行為であり、誠に遺憾であると考えている。再発防止に向け、校長会議や副校長・教頭会議等において、政治的中立性の重要性について、改めて指導するとともに、市立全小中高等学校に向け、文書により全職員への周知、徹底を図った。

子育て支援について

公明党
高橋 伸之

問 子育てみらいカードの発行は終了したが、協賛店に千葉県のクーポンを提示すれば今までのクーポンが受けられるのか。また、クーポン協賛店を拡大する考えはあるか。

答 別々の事業のため、子育て

てみらいカードの協賛店でクーポンを提示しても子育てみらいカードのクーポンは受けられないので、クーポンでもサービスが受けられるよう協賛店へお願いしていきたい。また、クーポンに1店でも多くの登録を願うなど「子育てしやすい街」としてのイメージアップにつながることも、市内の商業振興にもつながるよう取り組んでいきたい。



マリーンズベースボールチャレンジについて

まつど自民
大塚 健児

問 小学生を対象にしたスポーツ学習の基礎となる体験授業「マリーンズ・ベースボールチャレンジ」が馬橋小学校で行われたが、その成果は。また、どう評価したか。

答 マリーンズ・ベースボー

ルチャレンジは、平成28年度初めて小学校4校で実施する。馬橋小学校で、5年生を対象に「投げる」「打つ」を中心とした実技指導が行われ、褒めることを大切にわかりやすい言葉を使った助言で、子どもたちの意欲を引き出し活気のある授業だったと感じている。この体験授業では、技能の上達を肌で感じながらスポーツの魅力が味わうことができ、体力・運動能力向上にもつながるものと考えている。

災害時のペット同行避難について

清松会
箕輪 信矢

問 市は、ペット同行避難について、具体的にどのような取り組みを行っているか。

答 本市では、災害時にもペットと飼い主が安心して避難生活を送れるよう各種対策を講じている。具体的には災害時のペ

ット対策に関するリーフレットを作成し、広く市民の方々への周知や避難所となる市立学校長への配布、避難所管理者に向けた周知・啓発をしている。また、平成28年度総合防災訓練では東葛地域獣医師会と連携し、受付やペットの預かり等、実効性のある訓練を行いたい。さらに、同行避難への認識の違いを埋め、受け入れ体制に対する認識を統一することが今後の課題であるため、周知・啓発を継続していく。

パーキングメーターについて

まつど自民
小沢 暁民

問 商業振興との関連で、パーキングメーターの設置を考えたもよい地区はないか。

答 パーキングメーター等の設置は道路交通法第49条に規定されており、警察庁交通局から主な設置要件が示されている。

この要件を本市の商店会に照らし合わせると、該当する商店会もあるのではないかと考えている。まずは専門業者による調査を実施し、設置の可能性について追求したい。設置は、商店街の活性化を図る上で有効な取り組みになると考えており、結果を踏まえ関係部局と連携し、千葉県公安委員会および県警察等の関係機関に働きかけていきたい。



送迎保育ステーションの増設を

公明党
石川 龍之

問 新松戸地域や馬橋地域に適した場所として送迎保育ステーションを馬橋駅舎内に開設できないか。

答 地域や年齢的な保育需要の偏りを解消できることから、保育需要の高い、馬橋・新松戸方

面を巡回する送迎保育ステーションの設置は有効と考えている。しかし、馬橋・新松戸地区は各保育園の入所率が高く、送迎先の保育園の確保が難しい状況である。また、平成28年度、馬橋地区に民間保育園が開設計定されており、一定の需要は満たされると考えている。2カ所目の送迎保育ステーションは、旧古ヶ崎南小学校に予定している3歳児から5歳児中心の保育所への送迎等も視野に入れ検討していく。

食品ロスを減らす社会について

公明党
諸角 由美

問 食品ロス削減に向けて学校における啓発や、市民・事業者への取り組みは。また、「フードバンクまつど」の創設は。

答 小中学校では家庭科の食に関する指導や学習課題を解決する中で、食品ロス削減を考

るきっかけになると考えている。市民へは食品ロス削減の情報を提供し、ごみ減量の必要性の認識や、実践に結びつくよう啓発活動を実施する。事業者へは、クリンクル協力店制度に食品ロス関連を加えるなどの検討をしていきたい。また、フードバンクの活動を市の福祉政策と連携させることは、地域の活性化にもつながっていくため、これを推進している市社会福祉協議会の取り組みに協力していきたい。

市政協力委員制度 について

政策実行フォーラム

谷口 薫

問 市政協力委員制度が廃止され、それに代わる新制度に移行されたが、地域はどのようなようになっていくのか。

答 市政協力委員制度は60年余りにわたり、市と町会・自治会との間を結ぶものとして市政

発展に多大な貢献があった。平成28年度からは新たな地域代表者制度を開始し、その主役である「松戸市町会・自治会連合会」が発足した。この制度を、市民自治意識の高揚と地域福祉の発展につながる制度としていくことが重要であり、また、市と町会・自治会が直接連携して協力体制を築き、町会等の組織力が向上し活動が積極的になることで、地域活性化につながるものと考えている。

紙敷土地区画整理組合 清算総会を終えて

まつど市民

張替 勝雄

問 新市街地整備を目的として、東松戸駅を中心に、施工面積45・6ha、総事業費306億円、30年に及んだ紙敷土地区画整理事業の完成を、市はどのように捉えているか。

答 紙敷地区は、土地区画整

理事業により住環境が整備されたことで、若い世代を含めた多くの方が移り住み、新たなコミュニティが醸成されつつある。また、鉄道や道路の整備により交通利便性が向上し、活気あふれる街として発展することが期待される。個々のニーズに合った生活スタイルを尊重した中で、人々が集い、ふれあい、ぬくもりを感じ、愛着を持ち長く住み続けたい街となるよう地域の皆様と街づくりを行っていききたい。

食のセーフティネット について

政策実行フォーラム

DELLI

問 現在本市では「フードバンクちば」等と、どのような連携をしているのか。課題と今後の事業拡大の考えは。

答 「フードバンクちば」は企業や個人等から食品を回収する窓口として県内の社会福祉協

議会、NPO法人等と協定を結び活動している。市内では2団体が連携し活動しており、フードバンクの活動を市の福祉政策と連携させることは、地域の人々が一緒に福祉を支え、地域の活性化にもつながるものと考えている。現状の課題は、新たな取り組みであるフードバンクの活動が広く知れ渡るよう取り組んでいくことであり、市社会福祉協議会の取り組みに協力し、活動を広く周知していききたい。

災害対策について

日本共産党

山口 正子

問 福祉施設等の非常災害支援協定状況および福祉避難所としての機能について伺う。

答 本市では市内県立特別支援学校3校と福祉避難所として活用できるよう協定を結ぶとともに、要配慮者を支援するため

の受け入れ等に関して市内の特別養護老人ホーム20カ所と協定を締結している。災害発生時における避難行動要支援者への対応については、まず市内小中学校内の福祉避難室へ避難して頂き、必要に応じて老人福祉センター、特別養護老人ホーム等の二次福祉避難所へ移動する計画となっている。今後、災害時に避難行動要支援者には指定避難場所である小中学校等へ避難して頂くよう周知を図っていく。

生涯学習講座での 研究成果の活用を

まつど市民

鈴木 大介

問 生涯学習講座におけるリアフリーグループの研究成果には、将来の街づくりに大切なアイデアが含まれていると考えるが、このような成果を広く情報共有できる機会を設けられないか。

答 講座の一つである「ふるさと発見創造講座」は、松戸について調べ、魅力を再発見し、おもてなしができる市民外交官となる人づくりを目指している。また、リアフリーグループのような学習成果を集めて、講座受講生や市民、NPO、議員、市職員など多くの関係者が参加し、街づくりのアイデアや松戸の魅力を再発見する機会として「(仮称)生涯学習フォーラム」を検討していききたい。

六実地区の街づくり について

まつど市民

石井 勇

問 六実地区は、長年再開発等による街づくりを検討してきたが、いまだに実現していない。また、県道松戸鎌ヶ谷線の踏切付近は、歩道幅員が狭く極めて危険な状態のままであるが、現状をどう把握し、今後の方向性

をどのように考えているか。
答 六実地区の街づくりについては、大規模事業によるものを目指していたが採算性を確保できないことから事業化に至っていない。今後は、地区計画による道路空間の確保等、再開発促進地区準備組合とともに勉強会を進めていく。また、県道松戸鎌ヶ谷線の踏切付近は、千葉県も歩道幅員の必要性を十分認識しており、踏切拡幅に向けて引き続き協議を重ねていく。

市営住宅の 家賃減免制度について

日本共産党

平田 きよみ

問 市の条例には具体的な記述がないことから、市営住宅入居者は自分が家賃減免制度の対象となるか判断できない。千葉県に倣って改善してはどうか。

答 減免制度の対象世帯は、家計の主な収入者が亡くなった

場合や、所得があった家族の転居・退職等による所得減少が考えられる。よって、入居者には世帯員の異動の際に文書で周知し、さらに年2回、市営住宅入居台帳と住民基本台帳の突合を行い、不一致世帯に連絡を行ってきた。平成27年度からは2カ月ごとに行い、電話等で対応したことにより申請が増えている。今後も、配付文書に工夫を凝らす等、入居者の立場に立った細やかな対応をしていきたい。

子どもの貧困問題 について

日本共産党

高橋 妙子

問 「子どもの貧困対策の推進に関する法律」の具体的な対策等について、市長の見解を伺う。また、現在、子ども部を中心とした連携組織はどのような検討をし、機能をしているか。

答 本市では平成28年1月に庁内の検討組織「子どもの未来応援検討チーム」を設置した。総合的な子どもの貧困対策の策定を目指し、既存事業の整理や課題の抽出・解消に向け必要となる施策の検討を進めている。ほかの市町村もまさに今、どのような環境にある子どもも明るい未来を夢見て生きることができる社会の実現のため取り組み始めていると実感しており、検討チームを中心に庁内一丸となり取り組んでいく。

子育て支援について

政策実行フォーラム

二階堂 剛

問 子育て世代に利用しやすいするため、21世紀の森と広場の全ての駐車場料金を時間制にできないか考えを伺う。

答 駐車場料金の時間制の導入については、駐車料金が後払いになるため出庫する際の渋滞

や時間制に対応した料金精算機の設置等にかかる費用が高額であること等が課題である。現在、21世紀の森と広場では、魅力アップと有効活用を重要課題とし、市内に限らず、市外からもより多く来園してもらえるよう、さまざまな事業展開を進めている。今後、利用実態や利用者のニーズから、メリットとデメリットを精査し、料金体系などの見直しを含め、引き続き可能性について検討していききたい。

「矢切の渡し」を 史跡・名勝に

市民クラブ

深山 能一

「矢切の渡し」が、松戸のブランド力や魅力の向上につながる史跡・名勝に指定されることの可能性について伺う。

答 国の名勝指定には、近代以前からの景観が残っていてそれを裏付ける歴史的資料が必要

となり、国の史跡の指定も歴史上や学術上価値が高いと認められる資料が必要となる。「矢切の渡し」は農作業のために農民を対岸に渡すものであったため、現時点では裏付ける記録は確認できていない。指定に向けて葛飾区と連携して歴史資料の調査や研究を行い、国の文化財指定の可能性を追求していきたい。



昔と変わらぬ矢切の渡し

安全で快適な まちづくりを

まつど市民

大谷 茂範

松戸駅や新松戸駅周辺における歩きタバコや客引きなどへの対応を伺う。また、物販販売や路上パフォーマンスが見られるが、松戸駅東西デッキ利用について市の見解を伺う。

答 「松戸市安全で快適なま

ちづくり条例」で公共の場所での歩行喫煙を禁止しており、今後もさらなる喫煙マナー向上を図っていく。また、客引き行為については、警察による取り締まり等で一定の改善はみられるが、今後も関係機関と連携し繁華街等の安全安心確保に取り組む。松戸駅東西デッキの利用には道路法に基づく許可が必要となることから、道路管理者として庁内関係部署と連携し、適正な利用に向けて努力していく。

学校間の生徒数の差 について

政策実行フォーラム

原 裕二

学校間の児童生徒数の差はどうなっているか。また、その要因である学校選択制をどう評価し、大規模校を適正規模とするためにどう対応するか。

答 平成28年5月1日現在、市内で1番多い小学校は833

人、中学校は929人である。逆に1番少ない小学校は223人、中学校は270人である。また、保護者へのアンケートで90%以上が学校選択制を肯定的に捉えており、市としても一定の成果を上げているものと認識している。なお、大規模校では入学前説明会において、保護者に適正規模適正配置の観点から入学予定者数や放課後児童クラブの状況等の必要な情報を的確に提供できるよう、努めていく。

八柱駅から新病院への ルートについて

日本共産党

宇津野 史行

県道51号線について、危険な電柱の移設を千葉県と協議できないか。また、陣屋前橋の右側に人道橋の設置ができないか伺う。加えて、新病院への輸送手段としてシャトルバス運行等の可能性について見解を伺う。

答 県道51号線に係る安全対策については、県との事業連絡協議会において、市としても改めて要望を行ったところである。今後も継続して県と協議を実施していく。また、新病院への輸送手段については、シャトルバス運行の実証実験を行いさまざまな角度から検証に取り組み予定である。交通手段の確保は新病院運営に寄与する重要な施策であることから、バス事業者と協議を継続していく。

ベンチのたくさんある 街づくりを

市民クラブ

岩堀 研嗣

バス停にベンチを設置して欲しいという市民ニーズに対し、知恵や工夫をこらして対応できないか伺う。

答 バス事業者からの要望を受け、道路管理者と協議を行いバス停のベンチの必要性、交通

上の安全性、設置費用等を総合的に判断し設置している。一方、ベンチ設置にかかる費用は購入費以外にも維持管理費が必要となるため設置は進んでいない。バス利用者からはベンチの設置要望も寄せられており、市民ニーズとして認識している。今後、道路管理者やバス事業者等と連携し美観にも配慮した利用者に優しいベンチの設置を検討していく。



市内小中学校の 運動会・体育祭について

市民クラブ

渋谷 剛士

組み体操を中止した今年の小中学校の運動会・体育祭の様子について伺う。

答 運動会・体育祭を実施したどの学校においても安全面に十分配慮し運営され、大きな怪我等の報告は受けていない。組

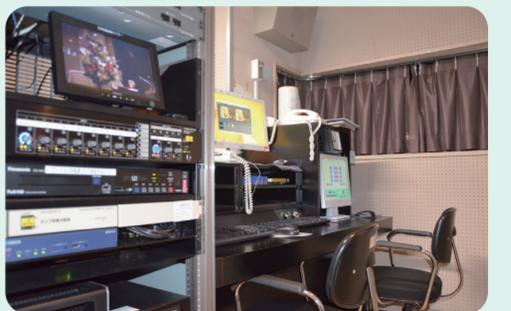
み体操にかわり、ほとんどの小学校ではダンス・民舞などの表現運動やマスゲームなどの集団行動を、また、多くの中学校では綱引きやリレー等の団体競技を行った。今後、平成28年度の怪我の発生状況や組み体操にかわる新たな取り組みに関する教育的効果について調査を実施し、安全で教育的効果のある運動会・体育祭の実践に向けた研究を進めていく。



ちょっと一息

議会中継をご存知ですか？

市議会では、市民の皆さんにいつでもご覧いただけるよう、録画した過去の定例会の様子をインターネットで放映しています。市議会議場での発言の様子を、ぜひ映像でご覧になってみませんか。



議場での様子は、この調整室で操作するカメラで撮影されています。

～ライブ中継も行っています～

定例会開催時にはライブで議場の様子を放映しています。ぜひご利用ください。

新市立病院建設 について

清松 会

大橋 博

新市立病院建設については地盤改良が完了した現場において、再三指摘していた載荷試験が実施されたところであるが、地盤支持力および長期許容支持力はどうに確認したか。

答 地盤改良体からランダム

にくり貫いた「コア」を採取して強度確認を行い、設計で求めた地盤支持力900kN（キロニュートン※）/㎡に対し、すべての「コア」でそれを上回る強度を確認した。また、長期許容支持力については、建物の基礎が接する地盤改良体の上部表面2カ所で平板載荷試験を行った結果、設計で求めた300kN/㎡に対し、2カ所ともこれを超える339・5kN/㎡を確認した。

※ニュートンは力の単位

ムクドリ対策について

無所属

山中 啓之

我孫子市では、鷹を放つてムクドリを追い払うという「鷹匠」を活用し、効果が出ている。本市でも現状の打開策として試してはどうか。

答 平成28年度に鷹匠による追い払いを視察した上で、本市

での実施を想定した費用や周辺への影響、必要な準備等の諸課題を整理し、事業化するか検討したい。また、今後も同様の問題を抱える自治体等や地域の方々と連携を深め、情報収集に努めることで、より効果的な対応策を探っていく。鳥獣保護法に守られるムクドリとは、どこかで共存の道を探るほかなく、バランスのとれた対策を引き続き模索したい。



松戸市議会の情報を ホームページで公開しています。

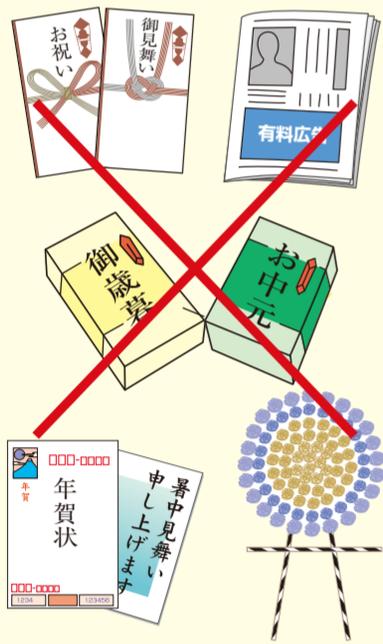
松戸市議会のホームページへ
<http://www.city.matsudo.chiba.jp/gikai/index.html>



本会議の様子は、松戸市ホームページのまつど市議会「インターネット議会中継」からご覧いただけます。平成27年6月定例会からは、パソコンだけでなく、スマートフォン・タブレット型端末でも視聴が可能となりました。ライブ放映は、本会議開始から終了まで議場の様子を放映します。ライブ放映終了後は、会議開催日の翌日夜から録画を公開しています。また、「松戸市議会会議録検索システム」では、過去の会議録も公開していますので、どうぞご利用下さい。

インターネット放映アクセス件数 39万9863件
(平成17年6月開設～平成28年6月末)

議員の寄附行為の禁止



政治家（後援団体）が選挙区内の人に、おみやげ物を贈ることは、法律で禁止されています。また、皆さんが政治家に寄附を求めることも禁止されています。

たとえば・・・

- お祭りや運動会など、地域の行事への寄附や差し入れ（催し物などで参加者全員と同額の会費を負担する場合は除く）
- お祝いやお見舞い、葬儀の花輪など
- 年賀状や暑中見舞いなどの時候の挨拶状（答礼のための自筆は除く）

※地域で行われる行事等で、会費や実費の伴うものの案内をする場合には、会費を必ず明示して通知してください。

表彰

全国市議会議長会の定期総会において、議員在職25年以上の方が表彰の荣誉に浴されました。また、全国市議会議長会の理事として尽力された功績に対し、本市議会議長へ感謝状の贈呈がありました。

特別表彰（在職25年以上）

中川 英孝 議員

感謝状の贈呈
大井 知敏 議長

9月定例会の開催予定

平成28年松戸市議会9月定例会は、9月2日（金）から9月30日（金）まで、いずれも10時より開催する予定です。請願・陳情は、8月24日（水）正午が提出期限です。

9月30日（金）	28日（水）	26日（月）	23日（金）	21日（水）	20日（火）	16日（金）	15日（木）	14日（水）	13日（火）	9日（金）	8日（木）	7日（水）	6日（火）	5日（月）	9月2日（金）	期日
本会議（議案等の採決）	決算審査特別委員会	〃	〃	〃	決算審査特別委員会（健康福祉分科会）	建設経済常任委員会	教育環境常任委員会	健康福祉常任委員会	総務財務常任委員会	〃（一般質問・議案質疑）	〃（一般質問）	〃（一般質問）	〃（一般質問）	本会議（一般質問）	招集日・本会議（議案提案理由説明）	主な内容

※このほか、随時、委員会が開催される場合があります。また、開催予定が変更となる場合もありますので、ホームページでご確認ください。

議会を傍聴しませんか

議会では、市民の皆さんの生活に関するさまざまな問題を取り上げて審議しています。私たち議員が、どのような活動をしているか、議会を傍聴にいらつしやいませんか。

●議会を傍聴するには

- (1) 開催当日、議会棟にて開会予定時刻の30分前から傍聴の受付を開始します。
- (2) 受付で住所・氏名をご記入ください。
- (3) 係員が傍聴席のご案内します。
- (4) 車椅子等でお越しの方は、係員にお申し出ください。
- (5) 手話通訳・要約筆記を希望される方は、事前にご連絡ください。

●問い合わせ先 市議会事務局庶務課
TEL 047 (366) 7381

次回発行予定は11月1日（火）です。

先日、姉妹都市提携45周年記念事業の一環で、松戸市唯一の姉妹都市ホワイトホース市（オーストラリア）を市民訪問団とともに、本市議会議長も訪問しました。事のはじまりは、今から45年前、松戸市の女子中学生がオーストラリア大使館に「ユーカリの種がほしい」という手紙を出したことでした。それがきっかけとなり、当時のボックスヒル市（現ホワイトホース市）との姉妹都市関係が築かれることになりました。以来5年ごとに市民訪問団がお互いに訪問し合っています。ホワイトホース市との友好関係がこれからもさらに発展していくことを、私たち市議会も願っています。



ホワイトホース市ボックスヒルタウンホールの前で

編集の窓

声の議会だよりを ご利用ください

松戸市障害者福祉センターでは、松戸朗読奉仕会の協力を得て、視覚障害の方を対象に、議会だよりを朗読した録音物の貸し出しをしております。詳しくは下記までご連絡ください。

●問い合わせ先
松戸市障害者福祉センター（ふれあい22内）
TEL 047 (383) 7111
住所 松戸市五香西3-7-1